

回覧

防災会だより 7月

2020.7 自主防災会 中山 敏夫

今年の梅雨は、膨大な水蒸気の流れ込みにより列島の広範囲に、連続して、集中的な豪雨となりました。熊本・大分、岐阜はじめ多くの県で川の氾濫、山崩れによる家屋の破壊・浸水など甚大な被害を受けました。特徴的なのは、気象庁はじめ公的機関の発する警報警告が間に合わないほどの速さで状況が変わり増水や氾濫が起こった事です。

普段から住む場所の災害マップや発表される予報・警報、周囲状況の変化などを知り、早め早めの対応と平常時の準備が重要であることを示しています。

周囲の危険箇所、避難ルート、連絡先の確認、家庭用防災備品の充実・更新など今一度家族で話し合い確認しましょう。コロナ汚染という新たな課題もあります。

『自分達の家は家族で守る』

皆様のご理解と幅広いご協力をお願い申し上げます。

自主防災会の備品

一丁目二区自主防災会は、大地震等地域全体が巻き込まれるような災害に対し、近所同士の助け合いで被害を最小限にし、公的避難所・援助機関が実効するまでの一時的な“つなぎ”の役割です。よって、防災会が持つ備品も一次避難対応となっています。十分ではありませんが発会以来順次整備・更新されています。

参考に現在一丁目二区防災会が保有する備品の主なものを挙げます。

救難用具	防災用具セット（バール、ジャッキ、ハンマー、ロープなど 11 点）4、鉄線カッター2、ヘルメット、防災手袋、運搬台車、メガホン、トランシーバー、ライト、ラジオ
救急用品	応急衛生セット4、簡易トイレ
生活用品	カセットコンロ・ボンベ、鍋、水保管容器
その他	大形テント、シート、防災バケツ、机

これらの備品は、2カ所（フレンドンマート東横、自治会館横）の防災倉庫に保管されています。

なお、食料品・飲料水等の備蓄はしておりません。各家庭で家族の2、3日分程度の食糧品、水分、応急手当品等の準備が望まれます。